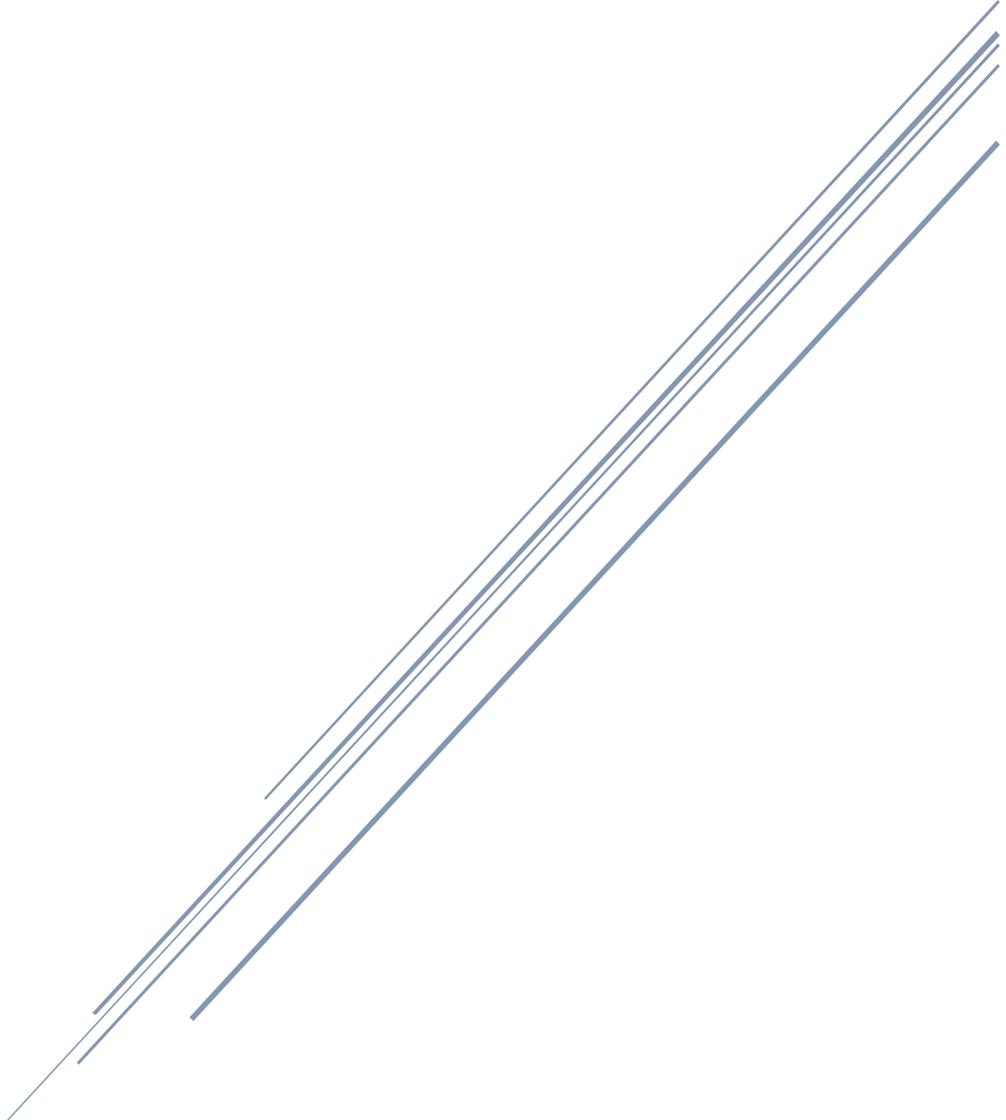


ベトナム学会報告書

The Joint Conference 4S-2014/AVIC2014



群馬大学大学院 理工学府 電子情報部門 小林研究室

修士1年 小林 佑太郎

学会基本情報

- ・学会：The Joint Conference 4S-2014/AVIC 2014
- ・場所：ベトナム ホーチミン マジェスティックホテルサイゴン
- ・日程：2014.10.21～2014.10.25
 - 21－登録、ウェルカムパーティー
 - 22－招待公演者公演、懇親会
 - 23－論文投稿者発表
 - 24－学会旅行(クチトンネル・統一会堂・郵便局・大教会・サイゴン川)

学会について

学会に参加して最も印象的だったことは、ベトナムが様々な分野の電子回路設計に対して力を入れているということでした。ベトナムは現在政策(戦略)として、電子回路研究者を大量に育てているようです(5年間で2000人?)。招待公演において世界の現在の電子産業の状態・今後の見通し・マネジメントなどお話を伺いましたが、どのベトナムの大学生も熱心に聞き、積極的に質問をしていました。学生でも英語を流暢に話し積極的に問題や疑問に向かっていく姿が数多く見られました。また全員が非常にまじめで楽しそうに議論しており、多くの見習うべき点があります。またこのような学生の成長は、ベトナム電子産業の更なる発展を大いに助けると考えられます。

私は初めての国際学会ということもあり緊張していましたが、発表は自分の練習の成果を出すことができたと思っています。私の研究の新規性などから自信を持って発表しましたが、予想よりも質問やコメントしてくれる人が少なく、反応が小さいという印象でした。質疑応答の返答など反省すべき点もあり、今回の反省を今後の研究や発表へ活かしていこうと思います。

下記を口頭発表しました。

Yutaro Kobayashi, Haruo Kobayashi, “SAR ADC Algorithm with Redundancy Based on Fibonacci Sequence”, The 3rd Solid State Systems Symposium-VLSIs and Semiconductor Related Technologies & The 17th International Conference on Analog VLSI Circuits, Ho Chi Minh City, Vietnam (Oct. 22-24, 2014)



学会発表の様子

ホテル内に会場が三つ

ベトナムの大学生が活発に議論していた

ベトナムの生活について

日程のほとんどをベトナムのホーチミンシティで過ごしました。ホーチミンの10月は雨季であり、むしむしした気候と30℃を超える気温に毎日苦しめられます。半袖でも暑く汗がたくさん出ます。一日に一回くらい台風のようなすごい風と雨がやってきて、道路は川のようになります。そのような状況では傘はもっぱら役には立たないため、町の人々はカッパを着るか雨宿りで対応しています。

このような日本とはまったく違う気候のためか、食べ物は大きく異なります。中心はパクチーなどの香草を多く用いた料理です。春巻やフォー、焼き飯や鍋などほとんどの料理からパクチーの香りが漂い、独特な料理の風味を作り出しています。またこの香りがホテルのシャンプーやボディソープ、化粧水から漂うのですが、それは正直つらかったです…。フルーツの種類が豊富で、日本に住んでいると食べることのできないようなおいしいフルーツをたくさん食べることができました。レストランは屋根だけついているようなものが多く、ワニ肉などを楽しめます。またすべてのおしぼりからは花のいい香りがしますが有料です。

建物に関しては場所により様々に異なります。ただ全体的な印象は日本ともそんなに変わらないと思いました。最終日のクルージングでは水に浮いている家などが紹介されており、気候に沿った衣食住を見ることができます。

移動はほとんどの人がバイクを利用していますが、交通量が多く空気がとても悪いです。また信号などはほとんどないために通りを横切るのは大変難しく、常に命がけでした。タクシーが便利ですがまったく後ろを見る気配がありませんでした。

ベトナムの人々について

ベトナムの人は陽気でニコニコしています(観光地のサービス精神かもしれませんが)。あまり細かいことは気にしないのか度々時間に大らかなところがあり、学会中も時間のずれが度々ありました。ただ一度学会が始まると真剣に議論をはじめます。(ベトナム訛り?) 英語を流暢に話し、積極的に質疑応答をします。これから自分たちが頑張っていくのだという気概を感じました。グローバル化が進んでいる今、日本人も学ぶべき部分があると感じました。

ただし街へ出るとなかなか英語は通じなくなります。商品を買うのもほとんどの店で値段交渉をする必要があり、日本人にはなれないことばかりで大変でした。

今回の学会を終えて

ベトナムはパワフルな国であり、人々はとても活気に満ち溢れていました。今後の大きな発展は容易に推測することができ、現在のように日本とベトナムの良い関係を維持しながら



宿泊地・学会会場とその前の通り

道を渡るときバイクは人をよけていく車は決して人をよけない!

お互いの国の発展のために協力を続けていくことが重要だと考えます。

今回ベトナムでの学会で、様々な経験を経たことや違う国の人や文化とふれあえたことが自分自身の心身の成長や新たな価値観の形成へつながったと思います。またベトナムには私が見習うべきところがたくさんあり、それらを今後活かしていきたいです。このような貴重な機会を与えてくださった小林先生をはじめとする諸先生方に感謝いたします。ありがとうございました。



ホテルのレストラン

どのビルも建設途中で

今後の大きな発展が推測される。